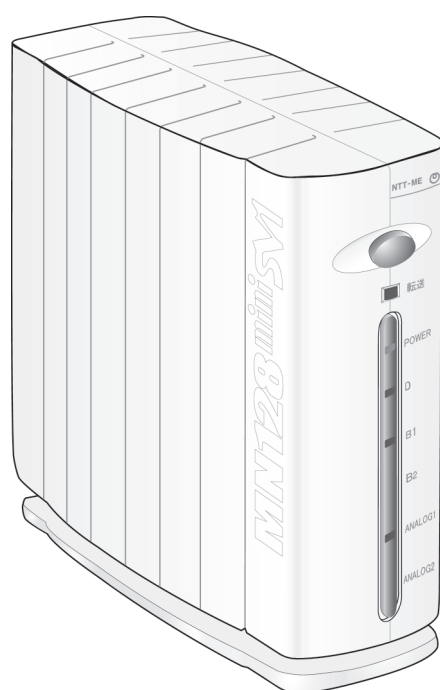


8. 機能 / 設定リファレンス



「SV1」の機能を設定する「簡単設定ユーティリティ」、「電話機設定コード」、「ATコマンド」のリファレンスです。

8-1. ポート共通設定

		簡単設定	電話機	ATコマンド															
グローバル着信			72	@R															
設定	グローバル着信																		
	<使わない>		#1 72 0 #	AT @R 0															
	<使う>		#1 72 1 #	AT @R 1															
機能	<ul style="list-style-type: none"> グローバル着信を使うかどうかを選びます。 																		
注意	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル着信」を<使わない>にすると、着信できなくなることがあります。通常は、NTTのダイヤルイン契約の「グローバル着信 有り/無し」にかかわらずグローバル着信を<使う>でお使いください。 																		
説明	<ul style="list-style-type: none"> グローバル着信を使うとダイヤルインサービスを使うときに、特定の機器にだけ着信できます。 この設定による動作は、下記ようになります。 																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>NTTとのダイヤルイン契約</th> <th>かかって来た番号</th> <th>着信のしかた</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">グローバル着信有り</td> <td>契約者回線番号</td> <td>「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。</td> </tr> <tr> <td>ダイヤルイン追加番号</td> <td>「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録されている番号と一致したときだけ着信します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">グローバル着信無し</td> <td>契約者回線番号</td> <td rowspan="2">「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。</td> </tr> <tr> <td>ダイヤルイン追加番号</td> </tr> <tr> <td>ダイヤルイン契約なし</td> <td>契約者回線番号</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				NTTとのダイヤルイン契約	かかって来た番号	着信のしかた	グローバル着信有り	契約者回線番号	「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。	ダイヤルイン追加番号	「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録されている番号と一致したときだけ着信します。	グローバル着信無し	契約者回線番号	「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。	ダイヤルイン追加番号	ダイヤルイン契約なし	契約者回線番号	
	NTTとのダイヤルイン契約	かかって来た番号	着信のしかた																
	グローバル着信有り	契約者回線番号	「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。																
		ダイヤルイン追加番号	「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録されている番号と一致したときだけ着信します。																
グローバル着信無し	契約者回線番号	「グローバル着信」(簡単-ポート共通/電話72/AT@R)の設定に従います。																	
	ダイヤルイン追加番号																		
ダイヤルイン契約なし	契約者回線番号																		
<ul style="list-style-type: none"> NTTと「グローバル着信有り」でダイヤルイン契約時に、ダイヤルイン追加番号だけに着信したときは、「グローバル着信」を<使わない>に設定すると、この設定だけで契約者回線番号では着信せずダイヤルイン追加番号だけに着信します。 i・ナンバー契約時に「i・ナンバー利用モード」(簡単-ポート共通/電話64/AT#M)で<かんたん利用モード>または<カスタマイズモード>に設定すると、この設定は無効になります。 																			
		簡単設定	電話機	ATコマンド															
内線通話			73	@S															
設定	内線通話																		
	<使わない>		#1 73 0 #	AT @S 0															
	<使う>		#1 73 1 #	AT @S 1															
機能	<ul style="list-style-type: none"> アナログ1とアナログ2の電話機などで内線通話を使うかどうかを選びます。 																		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 内線発信するときは、受話器を上げて発信音「ツー」が聞こえているときに *0 をダイヤルしてください。 																		
注意	<ul style="list-style-type: none"> 三者通話、通信中転送を<使う>に設定した場合、またはキャッチホンか擬似キャッチホンを<使う>に設定した場合の割り込み着信中は内線通話、内線転送は利用できません。 																		

8. 機能 / 設定リファレンス

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値															
擬似キャッチホンと擬似着信転送		63	@0																
設定	擬似キャッチホン <使わない> <使う>	#1 63 n [x] #	AT @0 n [x]	n=0, 1, 4, 5 (購入時設定=0) x=0, 1 (購入時設定=0) 0: メッセージあり 1: メッセージなし															
	擬似着信転送 <使わない> <使う>																		
: 使う x: 使わない																			
<table border="1"> <tr> <td>n =</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>擬似キャッチホン</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>擬似着信転送</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					n =	0	1	4	5	擬似キャッチホン	x		x		擬似着信転送	x	x		
n =	0	1	4	5															
擬似キャッチホン	x		x																
擬似着信転送	x	x																	
機能	・ 擬似キャッチホン、擬似着信転送を使うかどうかを選びます。																		
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擬似キャッチホン、擬似着信転送は、NTTとの契約をしなくてもフレックスホンのキャッチホン、着信転送と同様の機能を使えます。 ・ 擬似キャッチホンを使うと外線通話中に着信があったとき、フックを押すと通話を切り替えられます。 ・ 擬似着信転送を<使う>にするときは、転送中にメッセージを流すかどうかを選べます。 																		

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値																																																																																					
フレックスホン		71	@P																																																																																						
設定	キャッチホン <使わない> <使う>	#1 71 n #	AT @P n	n=0-15 (購入時設定=0)																																																																																					
	三者通話 <使わない> <使う>																																																																																								
: 使う x: 使わない																																																																																									
<table border="1"> <tr> <td>n =</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>キャッチホン</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信中転送</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三者通話</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>着信転送</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> </tr> </table>					n =	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	キャッチホン	x	x	x	x	x	x	x	x									通信中転送	x	x	x	x					x	x	x	x					三者通話	x	x			x	x			x	x			x	x			着信転送	x		x		x		x		x		x		x		x	
n =	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15																																																																									
キャッチホン	x	x	x	x	x	x	x	x																																																																																	
通信中転送	x	x	x	x					x	x	x	x																																																																													
三者通話	x	x			x	x			x	x			x	x																																																																											
着信転送	x		x		x		x		x		x		x		x																																																																										
機能	・ NTTの付加サービスであるフレックスホンの4つの機能毎に使うかどうかを選びます。																																																																																								
説明	・ キャッチホンを使うと外線通話中に着信があったとき、 フック を押すと通話を切り替えられます。																																																																																								

擬似キャッチホン、擬似着信転送、フレックスホンの注意と手順

注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擬似キャッチホンとフレックスホンの着信転送以外の機能は併用できません。擬似キャッチホンを<使う>にするときは、これらはすべて<使わない>にしてください。 ・ 擬似キャッチホンとキャッチホンの両方を<使う>にすると、擬似キャッチホンが有効になります。 ・ 擬似着信転送と着信転送の両方を<使う>にすると、着信転送が有効になります。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擬似キャッチホンまたはキャッチホンを使う手順は、以下の通りです。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「擬似キャッチホン」(簡単-ポート共通/電話63/AT@0)または「キャッチホン」(簡単-ポート共通/電話71/AT@P)を<使う>にします。 (2) 「着信ポート」(簡単-電話番号毎/電話52/AT@K)で<アナログ1だけ>または<アナログ2だけ>にします。 (3) 「アナログ1/2話中着信」(簡単-電話番号毎/電話62/AT@N)で<する>にします。 (4) 「接続機種」(簡単-ポート毎/電話32/AT@E)で<アナログ電話機>、<モデム/FAX機能付き電話機>、<G3-FAX>、<ナンバーディスプレイ(対応機)>、<ナンバーディスプレイ/キャッチホンディスプレイ>のどれかを選びます。 ・ 擬似着信転送または着信転送を使えるようにする(事前設定)手順は、以下の通りです。 <ol style="list-style-type: none"> (1) i・ナンバー契約時は、「i・ナンバー利用モード」(簡単-ポート共通/電話64/AT#M)で<カスタマイズモード>にします。<かんたん利用モード>(購入時設定)では、擬似着信転送または着信転送は使えません。 (2) 「擬似着信転送」(簡単-ポート共通/電話63/AT@0)または「着信転送」(簡単-ポート共通/電話71/AT@P)を<使う>にします。 (3) 「着信転送先番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話01/AT@Q)で転送先の電話番号を登録します。 (4) 「着信ポート」(簡単-電話番号毎/電話52/AT@K)で<アナログ1だけ>または<アナログ2だけ>にします。 ・ 擬似着信転送または着信転送を開始するときは、「着信転送の開始」(簡単-電話番号毎/電話55/AT#K)で<転送する(転送ボタン利用)>にします。

簡単設定		電話機	ATコマンド
アナログ機器優先モード (リソースBOD)		82	@U
設定	アナログ機器優先		
	<優先しない>	#1 82 0 #	AT @U 0
	<発信時優先>	#1 82 1 #	AT @U 1
	<着信時優先>	#1 82 2 #	AT @U 2
	<発着信時優先>	#1 82 3 #	AT @U 3
機能	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを使って128kbpsでMP通信をしているときに、アナログ通信機器を優先してBチャンネルを割り当てるための設定です。 		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 通常128kbpsでMP通信をするとBチャンネルを2つとも使うのでアナログ通信機器を使えませんが、<優先しない>以外の設定をしておけば、アナログ通信機器を使っているときはパソコンでの通信速度を64kbpsに落としてBチャンネルを1つアナログ通信に割り当て、アナログ通信が終了したときにパソコンの通信速度を128kbpsに戻すような便利な使い方ができます。 NTTと通信中着信通知サービスを「許可」で契約する必要があります。 		
簡単設定		電話機	ATコマンド
フッキングタイミング調節		34	#D
設定	フッキングタイミング		
	<フッキングあり、瞬断判定200ms、オンフック判定1100ms>	#1 34 0 #	AT #D 0
	<フッキングあり、瞬断判定300ms、オンフック判定1100ms>	#1 34 1 #	AT #D 1
	<フッキングなし、瞬断判定200ms、オンフック判定200ms>	#1 34 2 #	AT #D 2
	<フッキングなし、瞬断判定300ms、オンフック判定300ms>	#1 34 3 #	AT #D 3
機能	<ul style="list-style-type: none"> フッキング利用の有無、瞬断判定、オンフック判定のタイミングを選びます。 		
注意	<ul style="list-style-type: none"> <フッキングなし>に設定したときは、電話機からの設定、内線転送や保留、キャッチホンなど、フッキングが必要な機能は使えなくなります。 		
簡単設定		電話機	ATコマンド
i・ナンバー利用モード		64	#M
設定	i・ナンバー利用モード		
	<かんたん利用モード> (i・ナンバーを利用する)	#1 64 0 #	AT #M 0
	<カスタマイズモード> (i・ナンバーを利用する)	#1 64 1 #	AT #M 1
	<使わない>	#1 64 2 #	AT #M 2
機能	<ul style="list-style-type: none"> NTTの付加サービスであるi・ナンバーの使い方を選びます。 		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 購入時設定でi・ナンバーを使う設定になっていますが、i・ナンバー未契約時でも問題なく動作します。 i・ナンバー契約は、ダイヤルインサービスとは併用できません。 <カスタマイズモード>を設定しているとき、関連するその他のコマンドについては契約者回線番号を「登録番号0」、追加番号1を「追加番号1」、追加番号2を「追加番号2」として設定します。 i・ナンバー契約時に無効となるコマンド、発信時、着信時の動作の詳細は、P. 84 ~ P. 86を参照してください。 		

8-2. ポート毎(アナログ1/2)設定

		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
接続機種			32	@E	
設定	接続機種				r=1: アナログ1 =2: アナログ2
	<アナログ電話機>		#1 32 r 0 #	AT @E r=0	
	<モデム / FAX機能付き電話機>		#1 32 r 1 #	AT @E r=1	
	<G3-FAX>		#1 32 r 2 #	AT @E r=2	
	<ナンバーディスプレイ (対応機)>		#1 32 r 5 #	AT @E r=5	
機能	<ナンバーディスプレイ / キャッチホンディスプレイ>		#1 32 r 6 #	AT @E r=6	
	・ アナログポートに接続するアナログ機器の種別を選びます。				
注意	・ <ナンバーディスプレイ (対応機)>に設定したとき、お使いの機種によっては正常に動作しないことがあります。				
	・ キャッチホンを利用するアナログポートの接続機種は、<アナログ電話機>、<モデム/FAX機能付き電話機>、<ナンバーディスプレイ (対応機)>、<ナンバーディスプレイ / キャッチホンディスプレイ>のどれかを設定してください。				
	・ お使いになるナンバーディスプレイ電話機、FAX、アダプタで、ナンバーディスプレイ機能を有効にする設定が必要なことがあります。これらの製品のマニュアルを参照してください。				
		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
発信までの時間 (桁間タイマー)			41	@G	
設定	発信までの時間				r=1: アナログ1 =2: アナログ2 n=3~50秒 (購入時設定=5秒)
	3 ~ 50秒	5	#1 41 r n #	AT @G r=n	
機能	・ アナログポートに接続したアナログ機器から発信するときに、相手先番号をダイヤル終了してから何秒後に発信するかを設定します。				
説明	・ ダイヤル番号「110」、「119」、「171」は、この設定にかかわらず即時発信します。 ・ ダイヤルの最後に(Ⓝ)を押すと、この設定にかかわらずすぐに発信します。 ただし、「機能ボタン#/*の設定」(簡単-ポート毎/電話33/AT@F)で(Ⓝ)の機能を即時発信に変えたときは、(Ⓝ)を押します。				
		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
内線呼出音			42	@H	
設定	内線呼出音				r=1: アナログ1 =2: アナログ2
	<呼出音1> (リン・リン)		#1 42 r 0 #	AT @H r=0	
	<呼出音2> (リンリン・リンリン)		#1 42 r 1 #	AT @H r=1	
	<呼出音3> (リンリンリン・リンリンリン)		#1 42 r 2 #	AT @H r=2	
機能	・ 内線の呼出音を選びます。				
		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
内線着信表示内容の登録			なし	@D	
設定	アナログ1 内線着信表示				s=20桁までの数字 (文字)
	1			AT @D 1=s	
	アナログ2 内線着信表示				
機能	2			AT @D 2=s	
説明	・ ナンバーディスプレイ電話機(アダプタ)を接続し、「接続機種」(簡単-ポート毎/電話32/AT@E)で<ナンバーディスプレイ (対応機)>、<ナンバーディスプレイ / キャッチホンディスプレイ>に設定しているとき、他のアナログポートから内線着信すると、ここで設定した内容を表示します。				
	・ 入力できる数字/文字は20桁までです。アルファベット(大文字と小文字を区別)、数字(0~9)、記号「,」、「.」、「(」、「)」、「-」を指定できます。ただし、お使いのナンバーディスプレイ対応機によっては記号が表示できないことがあります。 ・ 数字(文字)「s」を省略すると、登録した表示内容を削除します。				

	簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値	
発信者番号通知の方法		93	@Y		
設定	発信者番号通知			r=1: アナログ1 =2: アナログ2	
	<NTTとの契約による>	#1 93 r 0 #	AT @Y r=0		
	<通常通知>	#1 93 r 1 #	AT @Y r=1		
	<通常非通知>	#1 93 r 2 #	AT @Y r=2		
機能	<ul style="list-style-type: none"> 発信時に相手先に回線番号を通知する方法を選びます。 				
説明	<ul style="list-style-type: none"> 相手先に回線番号を通知するかどうかは、下記のように決まります。 				
		NTTとの契約	TAの設定	相手の電話番号の前に...	通知
		常時非通知	無関係	無関係	しない
	通話ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	(何もなし)	「184」をダイヤル	する
		<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	(何もなし)	「184」をダイヤル	しない
		<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	(何もなし)	「186」をダイヤル	する
	回線ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	(何もなし)	「186」をダイヤル	する
		<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	(何もなし)	「184」をダイヤル	しない
		<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	(何もなし)	「186」をダイヤル	する
	<ul style="list-style-type: none"> 相手先に通知されるのは、「発信者通知番号の選択」(簡単-ポート毎/電話81/AT@T)で設定した回線番号となり、「発信者通知番号の選択」で何も設定していないときは契約者回線番号となります。 i・ナンバー契約時に<通常通知>または<通常非通知>に設定したときにアナログ2ポートからの発信で追加番号を通知するには、「発信者通知番号の選択」(簡単-ポート毎/電話81/AT@T)と「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@1)もあわせて設定してください。これらの設定がないと契約者回線番号が通知されます。 NTTのINSマジックボックス、INSボイスワープ、迷惑電話お断りサービスなど発信者番号の設定を必要とするときは、「発信者通知番号の選択」(簡単-ポート毎/電話81/AT@T)で設定してください。ここでの設定は必要ありません。 				
注意	<ul style="list-style-type: none"> 相手先がナンバーリクエスト契約しているときは、電話番号を通知しないと電話がつかないことがあります。 i・ナンバー契約時は、相手先に通知する内容は、設定したモードによって以下のようになります。 <ol style="list-style-type: none"> かんたん利用モードのとき アナログ1ポートから契約者回線番号、アナログ2ポートから追加番号1を通知します。「発信者通知番号の選択」(簡単-ポート毎/電話81/AT@T)で変えられます。 カスタマイズモードのとき 購入時設定ではアナログ1ポートから契約者回線番号、アナログ2ポートから追加番号1を通知します。「発信者通知番号の選択」(簡単-ポート毎/電話81/AT@T)で変えられます。 				

8. 機能 / 設定リファレンス

	簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値																												
発信者通知番号の選択		81	@ T																													
設定	発信者通知番号			r=1: アナログ1 =2: アナログ2																												
	<契約者回線番号> (INS網から番号設定)	#1 81 r 0 #	AT @T r=0																													
	<ダイヤルイン(追加番号)1>	#1 81 r 1 #	AT @T r=1																													
	<ダイヤルイン(追加番号)2>	#1 81 r 2 #	AT @T r=2																													
	<ダイヤルイン(追加番号)3>	#1 81 r 3 #	AT @T r=3																													
	(TAから番号設定)	#1 81 r 4 #	AT @T r=4																													
機能	<ul style="list-style-type: none"> 相手先に通知する回線番号を選びます。 																															
説明	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号を通知するかどうかは、下記のように決まります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>NTTとの契約</th> <th>TAの設定</th> <th>相手の電話番号の前に...</th> <th>通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常時非通知</td> <td>無関係</td> <td>無関係</td> <td>しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">通話ごと非通知</td> <td><NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)</td> <td>(何もなし)</td> <td>する</td> </tr> <tr> <td><通常通知> (93r1/AT@Y r=1)</td> <td>「184」をダイヤル</td> <td>しない</td> </tr> <tr> <td><通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)</td> <td>「186」をダイヤル</td> <td>する</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">回線ごと非通知</td> <td><NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)</td> <td>「186」をダイヤル</td> <td>する</td> </tr> <tr> <td><通常通知> (93r1/AT@Y r=1)</td> <td>「184」をダイヤル</td> <td>しない</td> </tr> <tr> <td><通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)</td> <td>「186」をダイヤル</td> <td>する</td> </tr> </tbody> </table>				NTTとの契約	TAの設定	相手の電話番号の前に...	通知	常時非通知	無関係	無関係	しない	通話ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	(何もなし)	する	<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	「184」をダイヤル	しない	<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	「186」をダイヤル	する	回線ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	「186」をダイヤル	する	<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	「184」をダイヤル	しない	<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	「186」をダイヤル	する
	NTTとの契約	TAの設定	相手の電話番号の前に...	通知																												
	常時非通知	無関係	無関係	しない																												
	通話ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	(何もなし)	する																												
		<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	「184」をダイヤル	しない																												
		<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	「186」をダイヤル	する																												
	回線ごと非通知	<NTTとの契約による> (93r0/AT@Y r=0)	「186」をダイヤル	する																												
		<通常通知> (93r1/AT@Y r=1)	「184」をダイヤル	しない																												
		<通常非通知> (93r2/AT@Y r=2)	「186」をダイヤル	する																												
	<ul style="list-style-type: none"> NTTのINSマジックボックス、INSボイスワープ、迷惑電話お断りサービスなど発信者番号を必要とするときは、ここで設定が必要です。契約している回線番号を発信者番号にして設定してください。 契約者回線番号だけで使うときは、この設定は必要ありません。 ダイヤルインサービス契約時は、ここでの設定が必要です。 																															
注意	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルイン追加番号1~3を設定していても、「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1~3で番号を登録していないときは、INSネット64網から契約者回線番号を設定します。 グローバル着信なしでダイヤルイン契約をしているときは契約者回線番号を「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1~3でいずれかのダイヤルイン追加番号に設定し、設定されたダイヤルイン追加番号を「発信者通知番号の選択」のダイヤルイン追加番号1~3から選びます。 i・ナンバー契約時は、相手先に通知する内容は、設定したモードによって以下のようになります。 																															
	(1) かんたん利用モード のとき	アナログ1ポートから契約者回線番号、アナログ2ポートから追加番号1を通知します。この設定で変えられます。																														
	(2) カスタマイズモード のとき	購入時設定ではアナログ1ポートから契約者回線番号、アナログ2ポートから追加番号1を通知します。この設定で変えられます。																														
<ul style="list-style-type: none"> 「アナログ1/2 サブアドレスの登録」(簡単-電話番号毎/電話51/AT@J)でサブアドレスを設定している場合は、本項目で説明している内容に従ってサブアドレスを相手先に<通知する>、<しない>が決定されます。 																																

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
番号通知がない場合の着信方法 (擬似ナンバーリクエスト)		92	@X	
設定	番号通知なしの着信			r=1: アナログ1 =2: アナログ2
	<着信しない>	#1 92 ** r 0 #	AT @X ** r=0	
	<呼出音1>(リン・リン) 話中着信音 (ピピッ・ピピッ)	#1 92 ** r 1 #	AT @X ** r=1	
	<呼出音2>(リンリン・リンリン) 話中着信音 (ピーピ・ピーピ)	#1 92 ** r 2 #	AT @X ** r=2	
	<呼出音3>(リンリンリン・リンリンリン) 話中着信音 (ピピピ・ピピピ)	#1 92 ** r 3 #	AT @X ** r=3	
	<案内メッセージ>	#1 92 ** r 4 #	AT @X ** r=4	
機能	・ 番号通知のない電話がかかってきたときの着信方法を選びます。			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アナログ1/2 外線呼出音」(簡単-電話番号毎/電話61/AT@M)よりも、この設定が優先されます。 ・ <着信しない>に設定すると相手先には「ツー・ツー・ツー」という話中音が流れます。<案内メッセージ>にすると「番号を通知しておかけ直してください」というメッセージが流れます。 ・ INSナンバーディスプレイ未契約時のアナログ回線からの着信、または公衆電話からの着信は番号が通知されません。 			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値																																																																						
機能ボタンの設定		33	@F																																																																							
設定	機能ボタン #	#1 33 r n #	AT @F r=n	r=1: アナログ1 =2: アナログ2																																																																						
	<機能なし>	n=0~10 (購入時設定=9)																																																																								
	<即時発信>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>n=</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>#</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>即時発信</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブアドレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>即時発信</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブアドレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			n=	0	1	2	4	5	6	8	9	10	#	なし										即時発信										サブアドレス									*	なし										即時発信										サブアドレス								
	n=	0	1	2	4	5	6	8	9	10																																																																
	#	なし																																																																								
		即時発信																																																																								
	サブアドレス																																																																									
*	なし																																																																									
	即時発信																																																																									
	サブアドレス																																																																									
<サブアドレス>																																																																										
機能ボタン *																																																																										
<機能なし>																																																																										
<即時発信>																																																																										
<サブアドレス>																																																																										
機能	・ アナログポートに接続したアナログ機器からダイヤルするときに、 (*) と (#) をどのような機能にするかを選びます。																																																																									
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 即時発信： ダイヤル番号の最後に、指定した機能ボタンを押すとダイヤル終了後すぐに発信します。 ・ サブアドレス： ダイヤル番号の最後に、指定した機能ボタンに続けて相手先、サブアドレスを入力してください。 																																																																									

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
音量調節		24	#A	r=1: アナログ1 =2: アナログ2
設定	送話音量調節			
	<小さく>	#1 24 r 01 #	AT #A r 0=1	
	<やや小さく>	#1 24 r 02 #	AT #A r 0=2	
	<標準>	#1 24 r 03 #	AT #A r 0=3	
	<やや大きく>	#1 24 r 04 #	AT #A r 0=4	
	<大きく>	#1 24 r 05 #	AT #A r 0=5	
	受話音量調節			
	<小さく>	#1 24 r 11 #	AT #A r 1=1	
	<やや小さく>	#1 24 r 12 #	AT #A r 1=2	
	<標準>	#1 24 r 13 #	AT #A r 1=3	
	<やや大きく>	#1 24 r 14 #	AT #A r 1=4	
	<大きく>	#1 24 r 15 #	AT #A r 1=5	
機能	・ アナログポート毎に送話、受話音量を調節します。			

8-3. 電話番号毎登録

	簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
回線番号の登録		43	@I	
設定	登録番号0 回線番号 (契約者回線番号/ダイヤルイン0)	#1 43 0 s #	AT @I 0=s	s=31桁までの 契約者回線番号 / i・ナンバー 追加番号 /ダイヤルイン 追加番号
	追加番号1 回線番号 (i・ナンバー追加番号1/ダイヤルイン1)	#1 43 1 s #	AT @I 1=s	
	追加番号2 回線番号 (i・ナンバー追加番号2/ダイヤルイン2)	#1 43 2 s #	AT @I 2=s	
	追加番号3 回線番号 (ダイヤルイン3)	#1 43 3 s #	AT @I 3=s	
機能	<ul style="list-style-type: none"> NTTとダイヤルイン契約時は、契約方法によって設定内容が変わります。以下を参照し、登録番号0と追加番号を登録してください。 「グローバル着信有り」 「登録番号0」に契約者回線番号、「追加番号1～3」にダイヤルイン追加番号を登録 「グローバル着信なし」 「追加番号1～3」に契約者回線番号とダイヤルイン追加番号を登録 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> 回線番号は、「市外局番」、「市内局番」、「加入者番号」のすべてを入力してください。 ATコマンド/電話機で設定するときに回線番号「s」を省略すると、登録した回線番号を削除します。 i・ナンバー契約時に発信者番号として登録するときは、「登録番号0」に契約者回線番号、「追加番号1」にi・ナンバー追加番号1、「追加番号2」にi・ナンバー追加番号2を設定してください。 i・ナンバー契約時は、着信時にはこの設定は無効です。 			

	簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
着信転送先番号の登録		01	@Q	
設定	登録番号0 着信転送先番号 (契約者回線番号/ダイヤルイン0)	#1 01 0 s #	AT @Q 0=s	s=31桁までの 着信転送先番号
	追加番号1 着信転送先番号 (i・ナンバー追加番号1/ダイヤルイン1)	#1 01 1 s #	AT @Q 1=s	
	追加番号2 着信転送先番号 (i・ナンバー追加番号2/ダイヤルイン2)	#1 01 2 s #	AT @Q 2=s	
	追加番号3 着信転送先番号 (ダイヤルイン3)	#1 01 3 s #	AT @Q 3=s	
機能	<ul style="list-style-type: none"> NTTの付加サービス、フレックスホンの着信転送を契約しているとき、あるいは擬似着信転送を使うときは、「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録した回線番号毎に着信転送先の電話番号を登録できます。 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> 着信転送先番号は、「市外局番」、「市内局番」、「加入者番号」のすべてを入力してください。 ATコマンド/電話機で設定するときに番号「s」を省略すると、登録した番号を削除します。 登録番号0の転送先を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> ダイヤルイン未契約時のときの契約者回線番号。 ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1～3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 i・ナンバー契約時は、<かんたん利用モード>(購入時設定)ではこの設定は無効です。<カスタマイズモード>で設定してください。 擬似着信転送または着信転送は、サブアドレスが設定されている電話番号には転送できません。 			

	簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値																																																																										
着信ポート		52	@K																																																																											
設定	着信ポート			q=0 : 登録番号0 =1 : 追加番号1 =2 : 追加番号2 =3 : 追加番号3																																																																										
	<着信しない>	#1 52 q 0 #	AT @K q=0																																																																											
	<アナログ1だけ>	#1 52 q 1 #	AT @K q=1																																																																											
	<アナログ2だけ>	#1 52 q 2 #	AT @K q=2																																																																											
	<両アナログポート>	#1 52 q 3 #	AT @K q=3																																																																											
	<アナログ1優先>	#1 52 q 4 #	AT @K q=4																																																																											
	<アナログ2優先>	#1 52 q 5 #	AT @K q=5																																																																											
機能	<ul style="list-style-type: none"> アナログ通信機器から着信があったときに、「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録した番号毎に着信するアナログポートを選べます。 																																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> 登録番号0を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> ダイヤルイン未契約時の契約者回線番号。 ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1~3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 キャッチホンを利用するとき、着信可能で空いているアナログポートがあるときはそちらに着信し、話中着信しません(片方のBチャンネルをデジタルデータ通信で使っているときを除く)。ただし、<アナログ1優先>、<アナログ2優先>のときは片方のアナログポートが空いても優先着信の設定をしたアナログポートに話中着信します。 キャッチホンまたは擬似キャッチホンを使うときに話中着信するポートは、「着信ポート」(簡単-電話番号毎/電話52/AT@K)の設定によって下記ようになります。 																																																																													
説明	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設定</th> <th colspan="4">話中着信するポート</th> </tr> <tr> <th>アナログ1ポート通信中</th> <th>アナログ2ポート通信中</th> <th>両ポート通信中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャッチホン</td> <td><着信しない></td> <td>着信しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ1だけ></td> <td>アナログ1ポートに話中着信</td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ2だけ></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td>アナログ2ポートに話中着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><両アナログポート></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td>1 2 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ1優先></td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ2優先></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>擬似キャッチホン</td> <td><着信しない></td> <td>着信しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ1だけ></td> <td>アナログ1ポートに話中着信</td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ2だけ></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td>アナログ2ポートに話中着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><両アナログポート></td> <td>アナログ1ポートに話中着信</td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td>着信しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td>アナログ2ポートに話中着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ1優先></td> <td>アナログ1ポートに話中着信</td> <td>アナログ1ポートに着信</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><アナログ2優先></td> <td>アナログ2ポートに着信</td> <td>アナログ2ポートに話中着信</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				設定	話中着信するポート				アナログ1ポート通信中	アナログ2ポート通信中	両ポート通信中	その他	キャッチホン	<着信しない>	着信しない				<アナログ1だけ>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信			<アナログ2だけ>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信			<両アナログポート>	アナログ2ポートに着信	アナログ1ポートに着信	1 2 3		<アナログ1優先>	アナログ1ポートに着信		1		<アナログ2優先>	アナログ2ポートに着信		2	擬似キャッチホン	<着信しない>	着信しない				<アナログ1だけ>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信			<アナログ2だけ>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信			<両アナログポート>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信	着信しない			アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信			<アナログ1優先>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信			<アナログ2優先>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信	
	設定	話中着信するポート																																																																												
		アナログ1ポート通信中	アナログ2ポート通信中	両ポート通信中	その他																																																																									
	キャッチホン	<着信しない>	着信しない																																																																											
		<アナログ1だけ>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信																																																																										
		<アナログ2だけ>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信																																																																										
		<両アナログポート>	アナログ2ポートに着信	アナログ1ポートに着信	1 2 3																																																																									
		<アナログ1優先>	アナログ1ポートに着信		1																																																																									
		<アナログ2優先>	アナログ2ポートに着信		2																																																																									
	擬似キャッチホン	<着信しない>	着信しない																																																																											
		<アナログ1だけ>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信																																																																										
		<アナログ2だけ>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信																																																																										
		<両アナログポート>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信	着信しない																																																																									
			アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信																																																																										
		<アナログ1優先>	アナログ1ポートに話中着信	アナログ1ポートに着信																																																																										
		<アナログ2優先>	アナログ2ポートに着信	アナログ2ポートに話中着信																																																																										
	<ol style="list-style-type: none"> 片方のBチャンネルがデータ通信等で使われているときは、アナログ1ポート、アナログ2ポートにかかわらず通話中のポートに話中着信します。 1つのアナログポートが通話中で、もう片方のポートが着信できないときは、アナログ1ポート、アナログ2ポートにかかわらず通話中のポートに話中着信します。 「アナログ1/2 話中着信」(簡単-電話番号毎/電話62/AT@N)でアナログ1ポートとアナログ2ポートの両ポートで話中着信を<する>に設定すると、両ポートとも通話中のときは、フレックスホンのキャッチホンではアナログ1ポートだけ話中着信します。 																																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> i. ナンバー契約時に各ポートに着信する内容は、設定したモードによって以下のようになります。 <ol style="list-style-type: none"> かんたん利用モードのとき アナログ1ポートに契約者回線番号、アナログ2ポートに追加番号1が着信します。本設定では変えられません。<カスタマイズモード>で変えられます。 カスタマイズモードのとき 購入時設定ではアナログ1ポートに契約者回線番号、アナログ2ポートに追加番号1が着信します。本設定で変えられます。 																																																																													

8. 機能 / 設定リファレンス

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
着信転送の開始		55	#K	
設定	着信転送			q=0:登録番号0 =1:追加番号1 =2:追加番号2 =3:追加番号3
	<転送しない>	#1 55 q 0 #	AT #K q=0	
	<転送する(転送ボタン利用)>	#1 55 q 1 #	AT #K q=1	
機能	・ 擬似着信転送または着信転送を開始する<転送する(転送ボタン利用)>を有効にするかを選びます。			
説明	・ 擬似着信転送または着信転送を使うときは、この設定の前に「擬似着信転送または着信転送」(簡単-ポート共通/電話63/AT@0または電話71/AT@P)を<使う>に設定し、「着信転送先番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話01/AT@Q)で転送先の電話番号を登録します。			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
アナログ1/2 サブアドレスの登録		51	@J	
設定	アナログ1 サブアドレス			q=0:登録番号0 =1:追加番号1 =2:追加番号2 =3:追加番号3 s=10桁までのサブアドレス
		#1 51 q 1 s #	AT @J q 1=s	
	アナログ2 サブアドレス			
		#1 51 q 2 s #	AT @J q 2=s	
機能	・ 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)で登録した回線番号とポート毎にサブアドレスが登録できます。サブアドレスを登録すると、サブアドレス付きで着信があったときに、登録してあるサブアドレスと一致したときだけ着信します。			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ ATコマンド/電話機で設定するとき、回線番号「s」を省略すると登録したサブアドレスを削除します。 ・ 登録番号0を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> (1) ダイヤルイン未契約時の契約者回線番号。 (2) ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 (3) 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1～3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 ・ サブアドレスを登録した場合、「サブアドレスグローバル着信」(簡単-電話番号毎/電話26/AT#C)が<しない>の設定のときは、サブアドレスを指定しないでかけてきた電話やFAXからの着信はできません。 ・ アナログ回線などからサブアドレスを通知して発信することはできません。 			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
アナログ1/2 話中着信		62	@N	
設定	アナログ1 話中着信			q=0: 登録番号0 =1: 追加番号1 =2: 追加番号2 =3: 追加番号3
	<しない>	#1 62 q 1 0 #	AT @N q 1=0	
	<する>	#1 62 q 1 1 #	AT @N q 1=1	
	アナログ2 話中着信			
	<しない>	#1 62 q 2 0 #	AT @N q 2=0	
	<する>	#1 62 q 2 1 #	AT @N q 2=1	
機能	<ul style="list-style-type: none"> 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@1)で登録した回線番号毎に、話中着信するかどうかを設定します。 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> 登録番号0を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> ダイヤルイン未契約時の契約者回線番号。 ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@1)の追加番号1~3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 擬似キャッチホンまたはキャッチホンを利用するときは、話中着信<する>に設定してください。 話中着信する設定ができるのは、「着信ポート」(簡単-電話番号毎/電話52/AT@K)で着信する設定になっているアナログポートだけです。 i・ナンバー契約時は、<かんたん利用モード>(購入時設定)ではアナログ1/2とも話中着信します。 			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
サブアドレスグローバル着信		26	#C	
設定	アナログ1 サブアドレスグローバル着信			q=0: 登録番号0 =1: 追加番号1 =2: 追加番号2 =3: 追加番号3
	<しない>	#1 26 q 1 0 #	AT #C q 1=0	
	<する>	#1 26 q 1 1 #	AT #C q 1=1	
	アナログ2 サブアドレスグローバル着信			
	<しない>	#1 26 q 2 0 #	AT #C q 2=0	
	<する>	#1 26 q 2 1 #	AT #C q 2=1	
機能	<ul style="list-style-type: none"> サブアドレスを登録している場合に、相手がサブアドレスを指定しないで電話をかけてきたときに着信するかどうかを選びます。 			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
アナログ1/2 外線呼出音		61	@M	
設定	アナログ1 外線呼出音			q=0: 登録番号0 =1: 追加番号1 =2: 追加番号2 =3: 追加番号3
	<呼出音1> (リン・リン)	#1 61 q 1 0 #	AT @M q 1=0	
	<呼出音2> (リンリン・リンリン)	#1 61 q 1 1 #	AT @M q 1=1	
	<呼出音3> (リンリンリン・リンリンリン)	#1 61 q 1 2 #	AT @M q 1=2	
	アナログ2 外線呼出音			
	<呼出音1> (リン・リン)	#1 61 q 2 0 #	AT @M q 2=0	
	<呼出音2> (リンリン・リンリン)	#1 61 q 2 1 #	AT @M q 2=1	
	<呼出音3> (リンリンリン・リンリンリン)	#1 61 q 2 2 #	AT @M q 2=2	
機能	<ul style="list-style-type: none"> 外線の呼出音を選びます。 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> 呼出音が鳴るのは、「着信ポート」(簡単-電話番号毎/電話52/AT@K)で着信する設定になっているアナログポートだけです。 i・ナンバー契約時は、<かんたん利用モード>(購入時設定)では<呼出音1>で固定です。<カスタマイズモード>にしてから設定を変えてください。 			

8. 機能 / 設定リファレンス

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
RVS-COMモード		35	#E	
設定	RVS-COMモード			q=0:登録番号0 =1:追加番号1 =2:追加番号2 =3:追加番号3
	<電話機操作/時間で転送>	#1 35 q 0 #	AT #E q=0	
	<自動受信>	#1 35 q 1 #	AT #E q=1	
機能	<ul style="list-style-type: none"> パソコン(RVS-COM)でFAXを受信する方法を選びます。 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> FAXを受信するには、RVS-COMを起動しておく必要があります(RVS-COMについての情報や使い方などはRVS-COMのマニュアルを参照してください)。 <電話機操作/時間で転送>は、アナログポートに接続した電話機から操作してパソコン(RVS-COM)でFAXを受信します。「RVS-COMへの自動転送時間」(簡単-電話番号毎/電話36/AT#F)で設定された時間内に電話機が応答しなかったときは、パソコンでFAXを受信します。 <自動受信>は、「RVS-COMへの自動転送時間」(簡単-電話番号毎/電話36/AT#F)の設定に関係なくすべての着信をすぐにパソコン(RVS-COM)で受信しようとします。相手先から電話の着信があってもアナログポートに接続した電話機は呼び出しません。 フレックスホンの通信中転送、または三者通話を利用する設定になっているときや、擬似キャッチホンまたはキャッチホンなどで話中着信しているときは、アナログ電話機から手動操作で転送操作できません。 登録番号0を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> ダイヤルイン未契約時の契約者回線番号。 ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の登録番号1~3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 i・ナンバー契約時は、<かんたん利用モード>(購入時設定)では、電話機操作の転送だけ可能です。時間での自動転送はできません。この設定は無効です。 i・ナンバー契約時、時間で転送または自動受信で利用するときは、<カスタマイズモード>に移行してから設定してください。 			

簡単設定		電話機	ATコマンド	設定値
RVS-COMへの自動転送時間		36	#F	
設定	RVS-COM転送			q=0:登録番号0 =1:追加番号1 =2:追加番号2 =3:追加番号3
	<転送しない>	#1 36 q 00 #	AT #F q=00	
	<5秒> ~ <165秒>	#1 36 q n #	AT #F q=n	
機能	<ul style="list-style-type: none"> アナログポートに着信したとき指定した時間アナログポートに接続した電話機を呼び出し、応答しなかったらパソコン(RVS-COM)に着信を転送します。 	n=01 ~ 19:自動転送時間 n =01: 5秒 =02: 10秒 =03: 15秒 =04: 20秒 =05: 25秒 =06: 30秒 =07: 35秒 =08: 40秒 =09: 45秒 =10: 50秒 =11: 55秒 =12: 60秒 =13: 75秒 =14: 90秒 =15: 105秒 =16: 120秒 =17: 135秒 =18: 150秒 =19: 165秒		
説明	<ul style="list-style-type: none"> FAXを受信するには、RVS-COMを起動しておく必要があります(RVS-COMについての情報や使い方などはRVS-COMのマニュアルを参照してください)。 「RVS-COMモード」(簡単-電話番号毎/電話35/AT#E)で自動転送に設定したときは、この設定にかかわらずすべての着信をすぐにパソコン(RVS-COM)で受信します。 擬似キャッチホンまたはキャッチホンなどで話中着信したときは、パソコン(RVS-COM)でFAXが受信できません。 登録番号0を指定するのは、以下のときです。 <ol style="list-style-type: none"> ダイヤルイン未契約時の契約者回線番号。 ダイヤルイン契約が「グローバル着信有り」のときの契約者回線番号。 「回線番号の登録」(簡単-電話番号毎/電話43/AT@I)の追加番号1~3に登録されていないダイヤルイン追加番号。 i・ナンバー契約時は、<かんたん利用モード>(購入時設定)では、本設定は無効です。<カスタマイズモード>に移行してから設定してください。 			

8-4. 電話帳

		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
電話番号の登録			83	@V	
設定	電話番号		#1 83 q s #	AT @V q=s	q=00~29:登録番号 s=31桁までの電話番号 (数字)
機能	・ 電話帳に電話番号を登録します。				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号は、「市外局番」、「市内局番」、「加入者番号」のすべてを入力してください。電話機/ATコマンドの設定で電話番号を省略すると、登録された電話番号を削除します。 ・ ここで登録した電話番号に該当する着信があったとき、「擬似なりわけサービスと擬似迷惑電話お断りサービスの設定」(簡単-電話帳/電話92/AT@X)に従って動作します。 				
		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
サブアドレスの登録			91	@W	
設定	サブアドレス		#1 91 q s #	AT @W q=s	q=00~29:登録番号 s=19桁までの サブアドレス(数字)
機能	・ 「電話番号の登録」(簡単-電話帳/電話83/AT@V)で登録した番号毎にサブアドレスを設定します。				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号とここで登録したサブアドレスに該当する着信があったとき、「擬似なりわけサービスと擬似迷惑電話お断りサービスの設定」(簡単-電話帳/電話92/AT@X)に従って動作します。 ・ 電話機/ATコマンドの設定でサブアドレス「s」を省略すると、すでに登録されていたサブアドレスを削除します。 				
		簡単設定	電話機	ATコマンド	設定値
擬似なりわけサービスと 擬似迷惑電話お断りサービス			92	@X	
設定	アナログ1 呼出音				q=00~29:登録番号
	<着信しない>	#1 92 q 1 0 #	AT @X q 1=0		
	<呼出音1> (リン・リン) 話中着信音 (ビビッ・ビビッ)	#1 92 q 1 1 #	AT @X q 1=1		
	<呼出音2> (リンリン・リンリン) 話中着信音 (ビー・ビー)	#1 92 q 1 2 #	AT @X q 1=2		
	<呼出音3> (リンリンリン・リンリンリン) 話中着信音 (ビビビ・ビビビ)	#1 92 q 1 3 #	AT @X q 1=3		
	アナログ2 呼出音				
	<着信しない>	#1 92 q 2 0 #	AT @X q 2=0		
	<呼出音1> (リン・リン) 話中着信音 (ビビッ・ビビッ)	#1 92 q 2 1 #	AT @X q 2=1		
	<呼出音2> (リンリン・リンリン) 話中着信音 (ビー・ビー)	#1 92 q 2 2 #	AT @X q 2=2		
	<呼出音3> (リンリンリン・リンリンリン) 話中着信音 (ビビビ・ビビビ)	#1 92 q 2 3 #	AT @X q 2=3		
機能	・ 「電話番号の登録」(簡単-電話帳/電話83/AT@V)で登録した相手先の番号からの着信があったとき、擬似なりわけサービスまたは擬似迷惑電話お断りサービスの動作をします。				
注意	・ INSナンバー・ディスプレイ未契約時のアナログ回線からの着信、または番号を通知してこない相手先からの着信に対しては、この機能は働きません。				
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アナログ1ポートとアナログ2ポートの両方とも<着信しない>に設定すると、擬似迷惑電話お断りサービスの機能になり、相手先には「ツー・ツー・ツー」という話中音が流れます。 ・ 「サブアドレスの登録」(簡単-電話帳/電話91/AT@W)を設定しているときは、回線番号とサブアドレスが一致したときだけ設定動作をします。 ・ 「アナログ1/2 外線呼出音」(簡単-電話番号毎/電話61/AT@M)の設定よりもこの設定が優先されます。 				

8-5. 初期化と設定の管理

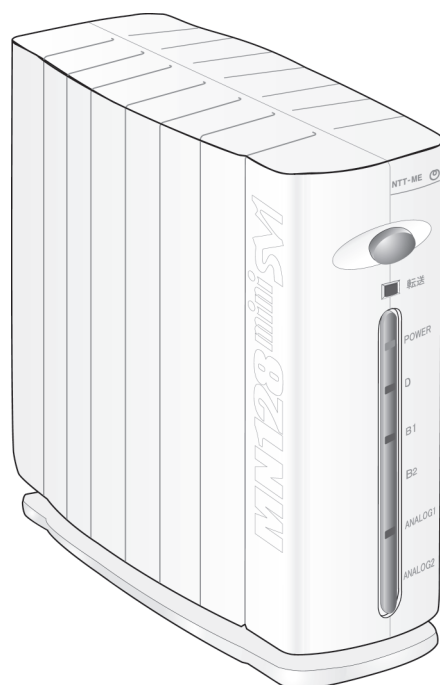
機能		簡単設定	電話機	ATコマンド
初期化			21	@A
設定	電話帳消去	削除ボタン	-	-
	アナログ設定消去	-	-	-
	全設定消去	設定の初期化	#1 21 #	AT @A 1
	設定保存時の状態に戻す	-	-	AT @A 0
機能	・ アナログ設定、電話帳を消去します。			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「全設定消去」を実行すると、購入時設定に戻ります。 ・ 「設定保存時の状態に戻す」はパソコンからAT@Bで保存した直後の設定に戻します。 ・ 電話機から設定するときは電話機設定コードのあと、すぐに # を押してください。 			
機能		簡単設定	ATコマンド	
設定 / 電話帳の読み込み / 保存		(メニュー / アイコン)	@B	
設定	アナログ設定を「SV1」に保存	-	AT @B	
	アナログ設定 / 電話帳を「SV1」に保存	設定の書き込み	-	
	「SV1」からアナログ設定 / 電話帳を読み込む	設定の読み込み	-	
	アナログ設定 / 電話帳をファイルに保存	(名前を付けて)保存	-	
	アナログ設定 / 電話帳をファイルから読み込む	開く	-	
機能	・ アナログ設定、電話帳の保存、読み込みをします。			
説明	・ 電話機からのアナログ設定、電話帳登録は「SV1」への保存作業は必要ありません。設定 / 登録のたびに保存処理をしています。			
機能		ATコマンド		
設定の表示 (簡単設定は画面ですべて表示)		@C		
設定	アナログ設定(83/AT@V、91/AT@W、92/AT@X以外)の表示	AT @C 0		
	83/AT@V、91/AT@W、92/AT@Xの表示	AT @C 1		
機能	・ アナログ設定をパソコンの通信ソフトウェアなどに表示します。			
説明	・ 簡単設定ユーティリティでは、画面で内容を確認できます。			
機能		ATコマンド		
製品情報の表示		I		
設定	使用可能な最高の通信速度を表示	AT I 0		
	製品名「MN128mini-SV1」を表示	AT I 2		
機能	・ アナログ設定をパソコンの通信ソフトウェアなどに表示します。			
注意	・ 数値に「0」、「2」以外を指定するとエラーになります。			

8-6. デジタル通信用ATコマンド一覧

- ・ ATコマンドの使い方、デジタル通信用ATコマンドの詳細につきましては、付属CD-ROM内の「リファレンス.pdf」を参照してください。

	AT コマンド	リファレンス .pdf
デジタル通信ATコマンド		
ATコマンド書式		
直前に入力したATコマンドの再実行	A/	8
呼び出しで手動着信	A	
発信	D	
エコバックの有無	E	
回線が接続しているときに切断	H	
製品情報表示	I	9
コマンド入力モードからオンラインモードに戻る	O	
応答コードの表示の有無	Q	
Sレジスタ設定/設定内容表示	S	
応答コードの表示形式	V	
RINGの表示形式	W	
応答コードの選択	X	
ブレーク信号による動作	Y	
内部ファイルの読み込み	Z	
DCD信号制御	&C	
DTR信号OFF時の動作	&D	
回線接続時の速度表示内容	&E	
購入時設定に戻す	&F	
通信モード	&Q	
DSR信号制御	&S	
動作チェック	&T	
発信相手先登録回線番号の表示	&V	11
設定の保存	&W	
起動時に読み込むファイルの選択	&Y	
発信相手先回線番号の登録/削除	&Z	
フロー制御形式	¥Q	
設定内容/課金情報の表示	¥S	12
無通信監視タイマー	¥T	
RS-232/USB着信時の最高回線速度	%B	
すべてのレジスタの設定内容表示	%R	
ダイヤルイン追加番号の登録/削除	\$C	
サブアドレスの登録/削除	\$E	13
発信時の回線速度	\$S	
発信者番号通知の方法	!B	
識別着信	!C	14
識別着信番号の登録/削除/表示	!D	
グローバル着信	!E	15
通信フォーマット	!F	
自動MP変換機能	!H	
初期接続Bチャンネル数	!I	16
スループットBODでのBチャンネル追加/削除	!J	
スループットBODでのデータ送信/受信時のBチャンネル追加	!K	
スループットBODでのデータ送信/受信時のBチャンネル削除	!L	16
ユーザ名とパスワードの登録/表示	!M	
BACP機能	!P	
BAPリクエストの対処方法	!Q	
リソースBODでのアナログ機器優先モード	!S	

9. 付録



9-1. 困ったときは

技術サポートセンターにお問い合わせの多い項目をまとめました。該当する項目がない場合や、対策を行っても症状が変わらない場合は、技術サポートセンターまでお問い合わせください。

ハードウェア

AC電源	
Q	電源が入りません
A	電源コードのプラグが電源コンセントに正しく接続されているか、ご確認ください。
Q	停電時にアナログ電話機は使えますか？
A	使えます。「SV1」では停電時に自動切り替えにより電池から電源を供給(バッテリーバックアップ)し、すべてのポートを使用可能にします。電池ホルダーにアルカリ乾電池をセットしてお使いください。ただし、停電時に一度電源が切れたあとに電池を入れてもバッテリーバックアップは作動しません。
「SV1」本体	
Q	B1・B2のランプが点滅します
A	ISDN回線(ISDN回線(U)ケーブル)が接続されているかご確認ください。
Q	ランプが1つもつきません
A	電源コードのプラグが電源コンセントにきちんと接続されているか、電源スイッチが「入」になっているかなどをご確認ください。
シリアル(RS-232)ケーブル	
Q	付属のシリアル(RS-232)ケーブルではパソコンに接続できないのですが
A	mini-DIN8ピン変換ケーブル、D-Sub25ピン変換アダプタはオプションで用意してあります。 パソコンの一部の機種では、コネクタポートの形状が合わない場合があります。その場合、市販の変換ケーブル/変換アダプタ(ストレート)を別途ご用意いただく必要があります。ただし、その場合の動作保証はできません。
Q	ノートパソコンに接続できないのですが
A	ノートパソコンのRS-232ポートと付属のシリアル(RS-232)ケーブルのコネクタ形状が合わない場合、お使いのノートパソコンのコネクタ形状に合った変換ケーブル/変換アダプタ(ストレート)をご用意いただき、付属の専用シリアル(RS-232)ケーブルと接続してお使いください。ただし、この場合の動作保証はできません。
Q	シリアルケーブルを延長したいのですが
A	延長する場合は、市販のストレートケーブルをご用意いただき、付属の専用シリアル(RS-232)ケーブルとつなぎ合わせてお使いください。ただし、この場合の動作保証はできません。
Q	市販のシリアル(RS-232)ケーブルを利用できますか？
A	できます。ストレートケーブルをご購入いただき、付属の専用シリアル(RS-232)ケーブルとつなぎ合わせてお使いください。ただし、この場合の動作保証はできません。
DSUスイッチ	
Q	外付けDSU(DSU内蔵TA)を使用して「SV1」を接続しましたが、動きません。
A	「SV1」のDSUスイッチが2つとも「切」になっているか確認してください。 外付けDSU(DSU内蔵TA)の終端抵抗切替スイッチが「切」に、「SV1」の終端抵抗切替スイッチが「入」になっているか確認してください。

ISDN回線

工事関係

Q	モジュージャックを移動、延長したいのですが
A	配線工事が必要になる場合があります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
Q	配線工事は必要ですか？
A	現在のモジュージャックの位置でお使いの場合には基本的に必要ありませんが、場合によっては工事が必要となります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
Q	モジュージャックのコンデンサを取り外す必要がありますか？
A	場合によっては、取り外す必要があります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
Q	保安器を取り替える必要がありますか？
A	場合によっては、取り替える必要があります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。

ISDNサービス

Q	アナログ回線の時に申し込んでいたキャッチホンや銀行振込みなどは、ISDNに切り替えても使えますか？
A	すべて申し込み直す必要があります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
Q	フレックスホン(三者通話、着信転送など)を使いたいのですが
A	NTTとの契約が必要です。契約済みの時は、設定が必要です。設定方法については、「3章 どうやって設定するの？」または「4章 電話機を使おう～基本編～」のフレックスホンについての各内容を参照してください。また、キャッチホン機能をお使いになる場合、ISDN回線の設定が通信中着信通知サービス許可となっている必要があります。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
Q	INSマジックボックス、INSボイスワープ、迷惑電話お断りサービス、Fネットを使いたいのですが
A	NTTとの契約が必要です。また、あわせてダイヤルイン契約をしている場合は、「SV1」で発信者番号通知の設定を行う必要があります。設定方法については、P.53を参照してください。
Q	i・ナンバーを使いたいのですが
A	NTTとの契約が必要です。「SV1」の購入時設定でi・ナンバーを利用できます。詳しくは、P.84を参照してください。
Q	擬似なりわけサービス、擬似迷惑電話お断りサービス、擬似ナンバー・リクエストが利用できないのですが
A	INSナンバー・ディスプレイを契約していないとアナログ回線からの着信時には番号が通知されませんので、擬似なりわけサービス、擬似迷惑電話お断りサービス、擬似ナンバー・リクエスト機能は利用できません。
Q	フレッツ・ISDNを使うときに設定はどうするのですか？
A	「SV1」での特別な設定はありません。一般的なインターネット接続で接続できます。フレッツ・ISDNは、プロバイダにより対応していない場合や設定変更が必要な場合もあります。詳しくは、お使いのプロバイダにご確認ください。

アナログ1/2ポート

アナログ機器の接続

Q	アナログ電話機なら何でも使えますか？
A	ISDNでは、プッシュボタン(PB)信号の出る電話機しか使えません。お使いの電話機の設定を「PB」または「トーン」に設定してください。設定方法については、各電話機のマニュアルを参照するか、電話機販売店などにお問い合わせください。
Q	電話機とFAXを同時に接続できますか？
A	「SV1」には、アナログ1/2ポートがあります。それぞれに電話機とFAXを接続できます。ただし、アナログ1/2ポート毎に着信を区別する場合は、i・ナンバーまたはダイヤルイン契約をお勧めします。i・ナンバー、ダイヤルインについての詳しいことは、NTTへお問い合わせください。
Q	1階で電話、2階でFAXを使いたいのですが
A	配線工事が必要とする場合があります。配線工事について詳しいことは、NTTへお問い合わせください。ただし、配線延長した場合は、一部正常に動作しない可能性があります。
Q	ダイヤルイン機能付きFAXは使えますか？
A	ISDN回線では、ダイヤルイン機能は使えません。FAX側でダイヤルイン機能を使わない設定にしてください。詳しくは、FAX販売店などにお問い合わせください。
Q	電話機とFAXをサブアドレスで使い分けたいのですが
A	「SV1」でサブアドレスを指定している場合に、サブアドレス指定なしの番号からの着信はできません。また、サブアドレスを付加して発信できるのは、ISDNに接続された一部の通信機器だけになります。この場合、i・ナンバーまたはダイヤルイン契約をお勧めします。
Q	ナンバーディスプレイ対応機は使えますか？
A	「SV1」でナンバーディスプレイ機能を利用するには、設定が必要です。詳しくは、P.58を参照してください。 アナログ回線からの着信時に相手先番号を表示するには、NTTとINSナンバーディスプレイ契約が必要です。 ご利用になるナンバーディスプレイ対応機で、ナンバーディスプレイ機能を利用する設定が必要になる場合があります。詳しくは、ご利用になるナンバーディスプレイ対応機のマニュアルを参照してください。

アナログ1/2ポートの設定

Q	電話機1台だけ接続している時は、「SV1」の設定は必要ありませんか？
A	設定が必要です。P.65またはP.72を参照して設定してください。
Q	2つのアナログ1/2ポート間で内線通話、外線の内線転送をしたいのですが
A	購入時設定でできます。P.56を参照してください。
Q	電話機に契約者回線番号、FAXにダイヤルイン追加番号を着信させたいのですが
A	設定が必要です。設定方法については、P.29、P.84を参照してください。
Q	グローバル着信有りダイヤルイン契約した場合、契約者回線番号をアナログ1/2ポートだけに着信させることはできますか？
A	できます。ただし、「SV1」の設定が必要です。設定方法については、P.180を参照してください。
Q	アナログ1/2ポートに電話機とモデムを接続し、モデムには着信させたくないのですが
A	電話機を接続したアナログ1/2ポートだけで着信するように設定する必要があります。設定方法については、P.104を参照してください。

Q BSチューナーの内蔵モデムとどのように接続すればよいのですか？	
A	アナログ1または2どちらかに電話コードで接続してください。特に「SV1」の設定は必要ありません。
Q アナログポートに接続したモデムが正常に動作しません	
A	モデムを接続したアナログポートを音量調節(簡単-ポート毎/電話24/AT#A)で送話音量と受話音量を両方とも大きくしてください。設定については、P.183を参照してください。
Q アナログ1ポートが通信中の時はアナログ2ポートに着信させたいのですが	
A	アナログ1ポートに優先的に着信させるには、設定が必要です。設定については、P.185を参照してください。
Q 設定内容が消えてしまいました	
A	簡単設定ユーティリティで設定したときは「ファイル」メニュー「保存」をクリック、電話機で設定したときは各設定のあとに「#」ボタンを押し、必ず最後に保存してください。
Q アナログポートから配線を延長したいのですが、またはどのくらい延長できますか？	
A	TA(ターミナルアダプタ)のアナログポートからの配線を延長する場合の延長可能距離は、接続する通信機器・配線の種類・設置環境などにより変動します。配線延長などに関する動作保証はできません。また、1つのアナログポートに複数のモジュラージャック(コネクタ)を接続した場合も動作保証はできません。

フレックスホン

Q キャッチホン(コールウェイティング)が使えません	
A	ISDNに切り替えた場合、アナログ回線時に申し込んでいたサービス(キャッチホンなど)は、すべて申込み直す必要があります。
	キャッチホン(コールウェイティング)契約をしている場合は、設定が必要です。P.63を参照してください。
	ISDN回線の設定で、「通信中着信通知サービス」が「許可」になっているかご確認ください。詳しくは、NTTへお問い合わせください。
	擬似キャッチホンを使わない設定にしてください。擬似キャッチホンとの併用はできません。
NTTとの契約が必要です。詳しくは、NTTへお問い合わせください。	
Q フレックスホンの着信転送ができません	
A	転送開始設定がされているかなど、P.69を参照して設定をご確認ください。
	i・ナンバー契約時、<かんたん利用モード>(購入時設定)では利用できません。
	NTTとの契約が必要です。詳しくは、NTTへお問い合わせください。

電話機の不具合	
Q	ダイヤルしてから発信するまで時間がかかります
A	購入時設定では、ダイヤル終了後から5秒後に発信します。ダイヤルの最後に「#」を押せば、すぐに発信します。
Q	電話の発信・着信ができません
A	ISDN回線および電話機の接続を確認してください。接続に問題がない場合は、「SV1」の設定を初期化してください。設定の初期化については、P.107を参照してください。
Q	電話の発信はできますが、着信ができません
A	着信ポートの設定を確認してください。着信ポートの設定については、P.104を参照してください。
Q	電話の着信はできますが、発信ができません
A	プッシュボタン(PB)信号のでの電話機しか使用できません。お使いの電話機の設定を「PB」または「トーン」に設定してください。設定方法については、各電話機のマニュアルを参照するか電話機販売店などにお問い合わせください。
Q	電話機にかけてもFAXに着信してしまいます
A	ダイヤルイン契約をしている場合は、P.87を参照して設定内容を確認してください。 ダイヤルイン未契約の場合は、契約されることをお勧めします。ダイヤルイン契約については、NTTへお問い合わせください。すでに契約されている場合は、「SV1」の設定が必要です。設定方法については、P.87を参照してください。
Q	電話機に雑音が入ります
A	ISDN U点ケーブル、電話用ケーブル、電話機用コードなどは、できるだけ短く束ねてください。
Q	コードレス電話機に雑音が入ります
A	コードレス電話機と「SV1」の設置場所は、できるだけ離してください。
Q	パソコンのシリアルケーブルを接続すると電話機に雑音が入ったり使えなくなります
A	「SV1」とパソコンのアースをとってください。パソコンにアースをとる方法などの詳しいことは、各パソコンのマニュアルを参照するか、販売店等へお問い合わせください。
G3-FAX	
Q	電話機とFAXで同時に通信できますか？
A	できます。ただし、着信を区別するには、i・ナンバーまたはダイヤルイン契約をお勧めします。i・ナンバー、ダイヤルイン契約については、NTTへお問い合わせください。すでに契約されている場合は、ダイヤルインは「SV1」の設定が必要です。設定方法については、P.87を参照してください。
Q	パソコンでFAX着信する方法はありますか？
A	RVS-COM(市販ソフト)を利用してパソコンからFAXの送受信が可能です。詳しくは、付属のCD-ROM内のpdfマニュアル「デジタル通信 応用編」を参照してください。 FAXモデムをアナログポートに接続し、パソコンからRVS-COMを利用してFAXの送受信が可能です。
Q	特定のFAXだけ送信できません
A	相手先がG4-FAXのときは、「SV1」の「接続機種」(簡単-ポート毎/電話32/AT@E)で機種をG3-FAXに設定してください。P.184を参照して設定してください。

パソコン通信

パソコン通信	
Q 「SV1」からパソコン通信に接続できません	
A	アナログ回線にしか対応していない番号にダイヤルしても接続できません。その場合、モデムが必要です。また、「SV1」は回線速度が64kbpsまたは128kbpsだけに対応しています。従って、9,600bpsなどの回線速度では接続できません。詳しくは、各パソコン通信の会社へお問い合わせください。
Q 「SV1」からモデムを使わないでパソコン通信に接続する方法は？	
A	ISDN対応64kbps(または128kbps)のパソコン通信にしか接続できません。それにはパソコン通信会社と契約が必要です。ISDN回線に切り替えた場合は、契約をし直す必要がある場合があります。詳しくは、各パソコン通信の会社へお問い合わせください。
Q 「SV1」のアナログポートに接続したモデムからパソコン通信に接続できません	
A	モデム側の設定、コマンド、接続などをご確認ください。この場合、「SV1」ではモデムに回線を供給しているだけなので、購入時設定のままでも問題なくお使いいただけます。なお、モデムの設定方法などについては各モデムのマニュアルを参照するか販売店などにお問い合わせください。
Q アナログポートからパソコン通信するのに「SV1」に付属のCD-ROMは必要ですか？	
A	必要ありません。必要なのは、通信ソフトウェアです。詳しくは、各パソコン通信の会社へお問い合わせください。

RVS-COM

RVS-COM	
Q RVS-COMが添付CD-ROMに入っていない	
A	RVS-COMは市販ソフトです。付属のCD-ROMの中には入っていません。ソフトウェア販売店などでお求めください。詳しくは、CD-ROM内のpdfマニュアル「デジタル通信 応用編」を参照してください。
Q RVS-COMが使えません	
A	RVS-COMのマニュアル等に記載されるお問い合わせ先にお問い合わせください。

RS-232 / USB ポート

ATコマンド	
Q	ATコマンドの入力方法は？
A	通信ソフトウェア、または簡単設定ユーティリティから入力します。詳しくは、P.47を参照してください。
Q	ATコマンドで設定できません
A	パソコンのRS-232(Machintoshはモデム/プリンタ)ポートの指定が間違っているなどの原因が考えられます。パソコンのマニュアルを参照するかパソコン販売店などにご確認ください。
Q	ATコマンドを入力すると「Error」になります
A	「SV1」以外の通信機器(モデムなど)を認識している可能性があります。通信ソフトウェアで指定しているRS-232(Machintoshはモデム/プリンタ)ポートを確認してください。または入力しているATコマンドが正しいかご確認ください。
Q	「AT」の文字が表示されずに「OK」という表示だけが出ます
A	通信ソフトウェア、または簡単設定ユーティリティの入力画面から「ATE1」と入力してください。

通信ソフトウェア	
Q	通信ソフトウェア(J-Termなど)の使い方は？
A	通信ソフトウェアで設定する必要がある項目は、付属のCD-ROM内のpdfマニュアル「デジタル通信ATコマンドリファレンス」を参照してください。また、各通信ソフトウェアの使い方については、各通信ソフトウェアのマニュアルを参照するか、各ソフトウェアのメーカーなどへお問い合わせください。
Q	通信ソフトウェアはどんなものを使ったらいいのですか？
A	ATコマンドをキーボードから入力できるものを選んでください。詳しくは、パソコンメーカーやソフトウェア販売店などへお問い合わせください。
Q	通信ソフトウェアからダイヤルしてもつながりません
A	「SV1」のRS-232ポートまたはUSBポートからアナログしか対応していない番号(177、117など)にダイヤルしても接続できません。デジタルデータ通信できる機器が接続されている通信先にしか接続できません。

USBドライバ	
Q1	USBドライバが正しくインストールできませんでした
Q2	USBポートが正しく動作しないのですが
A	P.158を参照してUSBドライバをアンインストール(削除)し、再度インストールしてください。

インターネット

インターネット(Windows)	
Q	コントロールパネル モデム 検出結果 詳細情報で、AT1*がほとんど「Error」になっています
A	「SV1」はAT12/3だけ表示し、あとはすべて「Error」で表示する仕様になっています。
Q	「モデムからの応答がありません」というメッセージが出て接続できません
A	<p>「SV1」を接続しているRS-232ポートを正しく設定しているかを確認してください。</p> <p>各プロバイダによって設定が異なる場合があります。お使いのプロバイダへお問い合わせください。</p> <p>送信バッファと受信バッファのレベルを下げてください。ダイヤルアップネットワークのウィンドウで、アイコンを選択 マウス右クリックで「プロパティ」を選択 設定 「接続のタブ/ポート」の設定で送信・受信ともに「低」に設定します。</p>
Q	USBポートからインターネットへ接続できない
A	<p>USBポートから通信できるOSは、Windows2000/Me/98です。OSがWindows95/NT4.0の場合は、USBポートから通信できません。</p> <p>添付CD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。P.111を参照してインストールしてください。</p> <p>パソコンのUSBポートが利用できる状態か確認してください。</p> <p>RS-232ポートとUSBポートに接続したパソコンから同時に通信はできません。RS-232ポートに接続したパソコンが通信中かどうか確認してください。</p> <p>Windows2000では、マイコンピュータのプロパティからハードウェアのタブを選び、デバイスマネージャのボタンをクリックしてデバイスマネージャウィンドウのモデムで、「SV1」が認識されているか確認してください。WindowsMe/98(SE)では、マイコンピュータのプロパティからデバイスマネージャのタブを選び、「SV1」が認識されているか確認してください。</p> <p>上記4項目を確認してもインターネットに接続できないときは、「SV1」とパソコンを再起動してください。</p>

インターネット(Macintosh)	
Q	添付CD-ROMの何をインストールすればいいのか
A	<p>リモートアクセス(OpenTransportPPP)のようにCCLファイルが必要なときは、CD-ROM内のCCLファイルを使います。使い方はCD-ROM内の「本CD-ROMについて」を参照してください。</p> <p>初期化コマンドを入力するタイプのPPP対応通信ソフトウェアで設定する場合は、CD-ROMを使わずとも設定できます。お使いの通信ソフトウェアで初期化コマンドを入力するだけです。初期化コマンドに関しては、P.190を参照してください。また、各ソフトウェアの設定方法は各ソフトウェアのマニュアルを参照するか、ソフトウェア販売店などへお問い合わせください。</p> <p>USBポートを利用する場合は、添付CD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。P.168を参照してください。</p>

インターネット(Macintosh)	
Q	「FreePPP」などの通信ソフトウェアはどこに入っているのですか
A	通信ソフトウェアは添付されておりません。パソコンにインストールされていない場合は、別途用意する必要があります。雑誌などの付録や商用ネットからフリーソフトを入手するか、ソフトウェア販売店などで購入する必要があります。
Q	CCLファイルはインターネットへの接続に必要ですか
A	リモートアクセス(OpenTransport PPP)のようにCCLファイルを必要とする場合は、CD-ROM内のCCLファイルを使います。 初期化コマンドを入力するタイプのPPP対応通信ソフトウェアで設定するときは必要ありません。 CCLファイルはMacintosh間を接続するApple Remote Accessを利用する場合に必要になります。
Q	通信フロー制御を「RTS/CTS」にすると接続後に通信切断される
A	「SV1」のフロー制御の初期設定は、「なし」です。フロー制御は、「SV1」側と通信ソフトウェア側で設定を合わせる必要があるため、通信ソフトウェア側の設定を「RTS/CTS」にした場合は「SV1」側の設定も「RTS/CTS」に変更してください。
Q	USBポートからインターネットへ接続できない
A	USBポートから通信できるOSは、MacOS8.6以上です。 添付CD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。P.168を参照してください。 アップルメニューのコントロールパネルを選び、モデムのウィンドウで「SV1」が認識されているか確認してください。 RS-232ポートとUSBポートに接続したパソコンから同時に通信はできません。RS-232ポートに接続したパソコンが通信中かどうか確認してください。
インターネット(その他)	
Q	「64000bpsで接続しました」と表示されましたが、インターネットの画面が表示されません
A	「Netscape」や「Internet Explorer」などのWWWブラウザを起動してください。お持ちでない場合は、雑誌の付録や商用のネットなどから入手するか、市販ソフトウェアを購入する必要があります。詳しくは、ソフトウェアの販売店などへお問い合わせください。
Q	URLを入力しても「Error」が表示されてインターネット画面が閲覧できません
A	ドメインネームサーバ(DNS)のアドレスを指定してください。また、確認してください。詳しくは、お使いのプロバイダへお問い合わせください。
Q	インターネットからのデータ転送速度が遅いです
A	転送速度は、接続する時間帯、接続先のプロバイダのサーバの処理速度などにより変動します。「SV1」では、設定した回線速度で接続することだけ行ない、接続後に転送する速度については「SV1」の設定は関係ありません。
Q	増設の高速シリアルボードは使えますか？
A	技術的には可能ですが、弊社で技術検証はしておりませんので動作保証はできません。高速シリアルボードに関する設定方法などについては、各ボードのメーカーなどへお問い合わせください。

Q 10回に1回くらいしか接続できません	
A	接続先のプロバイダの回線がすべて使用中のときは、接続できません。 Windows98(SE)/95の場合、送信バッファと受信バッファのレベルを下げてください。ダイヤルアップネットワークのウィンドウでアイコンを選ぶ。マウス右クリックで「プロパティ」を選ぶ。「設定」「接続」のタブ「ポートの設定」で送信・受信ともに「低」に設定します。
Q 128kbpsでインターネットに接続できません	
A	128kbpsで接続可能なインターネットのプロバイダと契約する必要があります。これについては、各プロバイダへお問い合わせください。 MN128mini-SV1(MP 128k)を選んでいるかご確認ください。 パソコンのRS-232またはUSBポートの通信速度が57.6kbps以下に設定しているときは、115.2kbps以上に設定を変えてください。また、115.2kbpsが出ないパソコンをご利用の場合は、128kbpsでの動作保証はできません。
Q RS-232ポートの通信速度が57.6kbpsの場合、64kbpsのインターネット接続はできますか？	
A	スループットが若干落ちますが、ほとんどの場合は接続できます。
Q 「NO CARRIER」で回線が切断されます	
A	接続先の電話番号がデジタルデータ通信対応の番号が確認してください。アナログだけに対応している番号には接続できません。詳しくは、各プロバイダへお問い合わせください。 回線切断時の応答コード3にして切断理由を参照してください。付属のCD-ROM内のpdfマニュアル「デジタル通信 ATコマンドリファレンス」の応答コード一覧を参照してください。応答コード3にするには、初期化コマンドに「X3」を追記してください。

付属のCD-ROM、ファームウェアや添付ソフト

CD-ROM	
Q 何に使うのですか？	
A	インターネットに接続するために必要な設定ファイル(infファイル)などが入っています。詳しくは、CD-ROM内の「本CD-ROMについて」を参照してください。
Q 通信ソフトウェア(ターミナルソフト、PPP対応通信ソフトなど)が入っていません	
A	通信ソフトウェアは添付していません。お客様ご自身で別途ご用意していただく必要があります。
Q ATコマンドを入力するにはCD-ROM内のどれを使うのですか？	
A	簡単設定ユーティリティをインストールし、ATコマンドを入力できます。「ATコマンド入力」タブをクリックし、ATコマンドを入力して「送信」ボタンをクリックしてください。

ファームウェアや添付ソフト	
Q ファームウェアや添付ソフトのバージョンアップの方法は？	
A	弊社のホームページからファームウェアやドライバなどのソフトウェアをダウンロードできます。詳しくは、ダウンロードしたときのReadMeファイルを参照ください。 URL http://www.ntt-me.co.jp/mn128/

9-2. 主要電話機設定コード/ATコマンド一覧

・「SV1」を設定する際によく使う「電話機設定コード」、「ATコマンド」の一覧です。

簡単設定	ATコマンド	電話機設定コード				内 容																																																																																																				
		コード番号	登録/追加番号	アナログポート	設定値																																																																																																					
ポート共通設定	擬似キャッチホンと擬似着信転送																																																																																																									
	@0	AT @ 0 n [x]	63		n [x]	n=0,1,4,5 (購入時設定=0:下記の表参照) x=0,1 (購入時設定=0:メッセージ有,1:メッセージ無)																																																																																																				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>< [0-9] f f f f f f f f f f ; R [0-9]..M) \ -</caption> <tr><td>n =</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>擬似キャッチホン</td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td></tr> <tr><td>擬似着信転送</td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>f f f f f f f f f f</caption> <tr><td>n =</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>キャッチホン</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>通信中転送</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>三者通話</td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td><td>x</td><td>x</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>着信転送</td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td><td>x</td><td></td></tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">● *g □ × *Pg, i, E, c</p>						n =	0	1	4	5	擬似キャッチホン	x		x		擬似着信転送	x	x			n =	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	キャッチホン	x	x	x	x	x	x	x	x									通信中転送	x	x	x	x					x	x	x	x					三者通話	x	x			x	x			x	x			x	x			着信転送	x		x		x		x		x		x		x		x	
	n =	0	1	4	5																																																																																																					
	擬似キャッチホン	x		x																																																																																																						
	擬似着信転送	x	x																																																																																																							
	n =	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15																																																																																									
	キャッチホン	x	x	x	x	x	x	x	x																																																																																																	
	通信中転送	x	x	x	x					x	x	x	x																																																																																													
	三者通話	x	x			x	x			x	x			x	x																																																																																											
着信転送	x		x		x		x		x		x		x		x																																																																																											
フレックスホン																																																																																																										
@P	AT @ P n	71		n	n=0~15 (購入時設定=0:上記の表参照)																																																																																																					
フッキングタイミング調節																																																																																																										
#D	AT # D 0 AT # D 1 AT # D 2 AT # D 3	34		0 1 2 3	フッキングあり、瞬断判定200ms、オンフック判定1100ms フッキングあり、瞬断判定300ms、オンフック判定1100ms フッキングなし、瞬断判定200ms、オンフック判定200ms フッキングなし、瞬断判定300ms、オンフック判定300ms																																																																																																					
i・ナンバー利用モード																																																																																																										
#M	AT # M 0 AT # M 1 AT # M 2	64		0 1 2	かんたん利用モード (i・ナンバーを利用する) カスタマイズモード (i・ナンバーを利用する) 使わない																																																																																																					
ポート毎設定	接続機種																																																																																																									
	@E	AT @ E r=0 AT @ E r=1 AT @ E r=2 AT @ E r=5 AT @ E r=6	32		0 1 2 5 6	アナログ電話機 モデム/FAX機能付き電話機 G3-FAX ナンバーディスプレイ(対応機) ナンバーディスプレイ/キャッチホンディスプレイ																																																																																																				
	発信者番号通知の方法																																																																																																									
	@Y	AT @ Y r=0 AT @ Y r=1 AT @ Y r=2	93		0 1 2	NTTとの契約による 通常通知 通常非通知																																																																																																				
	発信者通知番号の選択																																																																																																									
	@T	AT @ T r=0 AT @ T r=1 AT @ T r=2 AT @ T r=3 AT @ T r=4	81		0 1 2 3 4	契約者回線番号 (INS網から通知) ダイヤルイン(追加番号)1 ダイヤルイン(追加番号)2 ダイヤルイン(追加番号)3 ダイヤルイン(追加番号)0 (契約者回線番号)																																																																																																				
	番号通知がない場合の着信方法(擬似ナンバーリクエスト)																																																																																																									
	@X	AT @ X ** r=0 AT @ X ** r=1 AT @ X ** r=2 AT @ X ** r=3 AT @ X ** r=4	92	**	r=1~2	呼出音 着信しない 呼出音1 呼出音2 呼出音3 案内メッセージ																																																																																																				
	送話/受話音量調節																																																																																																									
	#A	AT # A r m=1 AT # A r m=2 AT # A r m=3 AT # A r m=4 AT # A r m=5	24		m=0 (送) 3 m=1 (受) 5	小さく やや小さく 標準 やや大きく 大きく																																																																																																				

濃い網掛け は、購入時設定です。

簡単設定	ATコマンド	電話機設定コード				内容		
		コード番号	登録/追加番号	アナログポート	設定値			
電話番号 毎登録	回線番号の登録							
	@I	AT @ I q=s	43	q=0~3	s	s=31桁までの数字 (契約者回線番号/追加番号)		
	着信転送先番号の登録							
	@Q	AT @ Q q=s	01	q=0~3	s	s=31桁までの数字 (着信転送先番号)		
	着信ポート							
	@K	AT @ K q=0	52	q=0~3	0	着信しない		
		AT @ K q=1			1	アナログ1だけ		
		AT @ K q=2			2	アナログ2だけ		
		AT @ K q=3			3	両アナログポート		
		AT @ K q=4			4	アナログ1優先		
	AT @ K q=5	5	アナログ2優先					
	着信転送の開始							
#K	AT # K q=0	55	q=0~3	-	0	転送しない		
	AT # K q=1			1	転送する (転送ボタン利用)			
アナログ1/2 サブアドレスの登録								
@J	AT @ J q r=s	51	q=0~3	r=1~2	s	s=19桁までのサブアドレス		
アナログ1/2 話中着信								
@N	AT @ N q r=0	62	q=0~3	r=1~2	0	話中着信を許可しない		
	AT @ N q r=1				1	話中着信を許可する		
アナログ1/2 サブアドレスグローバル着信								
#C	AT # C q r=0	26	q=0~3	r=1~2	0	サブアドレスグローバル着信を許可しない		
	AT # C q r=1				1	サブアドレスグローバル着信を許可する		
電話帳	電話番号の登録							
	@V	AT @ V q=s	83	q=00~29 (登録番号)	s	s=31桁までの電話番号		
	サブアドレスの登録							
	@W	AT @ W q=s	91	q=00~29 (登録番号)	s	s=19桁までのサブアドレス		
	擬似なりわけサービスと擬似迷惑電話お断りサービス							
@X	AT @ X q r=0	92	q=00~29 (登録番号)	r=1~2	0	着信しない		
	AT @ X q r=1				1	呼出音1	リン・リン	ビビッ・ビビッ
	AT @ X q r=2				2	呼出音2	リンリン・リンリン	ビ・ビ・ビービ
	AT @ X q r=3				3	呼出音3	リンリンリン・リンリンリン	ビビビ・ビビビ
設定の初期化								
@A	AT @ A 0	なし				設定を保存したときの状態に戻す		
	AT @ A 1	21				購入時設定に戻す		
設定の保存 (簡単設定は「設定の書き込み」)								
@B	AT @ B	なし				設定を保存		
設定の表示 (簡単設定はタブから選ぶ画面ですべて表示)								
@C	AT @ C 0	なし				83@V、91@W、92/@X以外を表示		
	AT @ C 1	なし				83@V、91@W、92/@Xを表示		

9-3. ハードウェア仕様 / 機能

インタフェース	
ISDNインタフェース部	
適用回線	INSネット64(2B+D)
適用サービス	Bチャンネル回線交換
インタフェース形態	P-MP呼毎またはP-MP常時
Bチャンネル通信速度	64/128(kbps)
終端抵抗	内蔵(スイッチで切替可能)
U点部	
ポート数	1 (スイッチでDSU切り離し可能)
コネクタ形状	6ピンモジュージャック(RJ11)
伝送方式	2線式時分割方式 JT-G.961準拠
極 性	自動反転
DSU折り返し機能	あり
S/T点部	
コネクタ数	1
コネクタ形状	8ピンモジュージャック(RJ45)
伝送方式	4線 AMI符号 ITU-T I.430準拠
給 電	あり(DSU使用時)
RS-232インタフェース部	
ポート数	1
機械的仕様	D-Sub9ピン・コネクタ (付属の専用RS-232ケーブル使用)
電氣的 / 論理的仕様	RS-232C (V.24/V.28) 準拠
接続制御手順	Hayes互換ATコマンド
通信速度	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4)kbps ()内はV.28規格外
USBインタフェース部	
ポート数	1
ポートタイプ	Btypeアップストリームポート
通信速度	12Mbps
アナログインタフェース部	
ポート数	2
コネクタ形状	6ピンモジュージャック(RJ11)
電氣的仕様	2線式アナログインタフェース
給電電圧	-48 ± 5V (無負荷時)
発信手順	押しボタンダイヤル(PB)
ブランチ接続	動作保証外
ユーザインタフェース	
状態表示LED	7個(POWER、D、B1、B2、ANALOG 1、ANALOG 2、転送)
ボタン	転送ボタン
スイッチ	電源スイッチ、初期化スイッチ、DSUスイッチ(2個) 終端抵抗切替スイッチ
バックアップ電池仕様	
	バックアップ時間は、使用環境および乾電池のメーカーにより大きく異なる場合があります。
使用電池	アルカリ単三乾電池(6本)
連続通話時間	約100分(アナログポート1、2どちらかのポート使用の場合)
待ち受け時間	約150分(全てのポートを使用していない場合)
一般仕様	
電源(内蔵)	AC100V ± 10% 50/60Hz
消費電力	10W以下
環境条件	温度5 - 35、湿度20 - 70%(但し結露しないこと)
外形寸法	58(W) × 150(D) × 130(H)mm(突起物を含まない)
重 量	約550g
電波障害防止	VCCIクラスB
オプション	Mac(mini-DIN8ピン)用変換ケーブル D-Sub25ピン用変換アダプタ

TA機能		
Hayes互換ATコマンド	USB-RS232間ファイル共有機能	
全自動非同期同期PPP相互変換機能	64k/128kbps自動切替え(スレープットBOD機能)	
128kbps MP通信機能	BACP機能	
アナログ優先機能(リソースBOD)	RVS-COM(FAX送受信) ソフト別売り	
アナログ機能		
INSナンバーディスプレイ/キャッチホンディスプレイ	擬似なりわけサービス(各3段階)	
発信者番号通知の設定	擬似迷惑電話お断りサービス	
発信者番号の設定	擬似ナンバーリクエスト (メッセージ「番号を通知しておかけ直してください」)	
内線通話/転送		
サブアドレスグローバル着信	送受話音量調節(各5段階)	
擬似キャッチホン	着信ポートの選択	
擬似着信転送(メッセージ「ただいま電話を転送しています」)	外線/内線呼出ベル音量切替(各3段階)	
フッキングのタイミング調節(4種類)		
INSネット64基本機能		
グローバル着信	サブアドレス通知サービス	
発信者番号通知サービス	通信中着信通知サービス	
対応INSネット64付加サービス (有料)		
i・ナンバー	INSダイヤルイン	
INSマジックボックス	INS迷惑電話お断りサービス	
フレックスホン	INSボイスワープ	
キャッチホン	INSボイスワープセレクト	
三者通話	INSナンバー・ディスプレイ/キャッチホンディスプレイ	
通信中転送	Fネット	
着信転送		
その他		
動作確認OS(すべて日本語版です)	RS-232ポート	USBポート
Windows2000、WindowsMe、Windows98(SE)		
Windows95、WindowsNT4.0		×
MacOS9.1、MacOS9、MacOS8.6		
MacOS8.5.1、MacOS8.1		×
設定方法	簡単設定ユーティリティ アナログ電話機、ATコマンド	
ファームウェアの更新	可能(ダウンロード)	

- ・ Windowsのインターネット共有接続サービスを利用した場合の自動接続/切断に関してなど料金に関するトラブルについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

9-4. お問い合わせ先

メンテナンスサービスについて

- ・ 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料で故障箇所を弊社所定の方法で修理させていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社が指定するサービス窓口を保証書を添えてお申し出ください。
また、修理を行なうために交換された旧部品等の一部にはお返しできないものがあります。
なお、MN128mini-SV1のハードウェア部分の修理に限らせていただきます。
* 修理費送付に伴う送料は、原則として送り主負担とさせていただきます。
- ・ 保証期間でも次のような場合には、有償修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書に製造番号、保証期間および販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - お客様による郵送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取扱いが適性でないために生じた保証、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - 火災、落雷、塩害、地震、および風水害、その他天災地変、公害あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - MN128mini-SV1に接続している弊社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、磨耗、劣化した場合。
 - 出張修理の場合(出張経費および技術料)

お問い合わせ先

MN128mini-SV1について技術的なご質問または製品アップグレードに関するご質問は、お買い上げの販売代理店、小売店、またはMN128-TA 技術サポートセンターまでお問い合わせください。

ホームページのご案内

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーにて、弊社製品のサポート情報、最新の機能に対応・問題を解決したファームウェアやアプリケーションなどを提供しています。定期的に応じたURLを参照することをお勧めします。

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー 「MN128 Information」

<http://www.ntt-me.co.jp/mn128/>

MN128mini-SV1

お問い合わせシート

MN128mini-SV1の設定内容を記入して保存しておきましょう。

また、技術サポートセンターにお問い合わせるときは、このシートに記入してFAXでお送りください。

お名前			ご購入日	平成()年()月()日
ご連絡先	TEL ()	携帯 ()	FAX ()	
ご住所	〒			
パソコン	メーカ() 機種名() OS()			
	接続するポート 【 RS-232 / USB 】			
バージョン	「SV1」ファームウェア Ver.()		「SV1」製造番号(本体裏面にあります)	
	MN128mini-SV1 簡単設定ユーティリティ Ver.()		S/N:()	

アナログポートの設定内容

ダイヤルイン契約	【 あり / 無し 】追加数()	i・ナンバー契約	【 あり / 無し 】
電話番号		着信するポート	
契約者回線番号	()	【 両アナログポート / アナログ1 / アナログ2 / 着信しない / その他() 】	
追加番号	()	【 両アナログポート / アナログ1 / アナログ2 / 着信しない / その他() 】	
	()	【 両アナログポート / アナログ1 / アナログ2 / 着信しない / その他() 】	
	()	【 両アナログポート / アナログ1 / アナログ2 / 着信しない / その他() 】	
	()	【 両アナログポート / アナログ1 / アナログ2 / 着信しない / その他() 】	
ポート	接続する機器		
アナログ1	【 電話機 / FAX 電話機がモデム / FAX / ナンバーディスプレイ電話機 / キャッチホンディスプレイ電話機 / その他() 】		
アナログ2	【 電話機 / FAX 電話機がモデム / FAX / ナンバーディスプレイ電話機 / キャッチホンディスプレイ電話機 / その他() 】		
その他の設定メモ			

利用するサービス

INSマジックボックス/ INSボイスワープ	・利用する カスタマーコントロール機能利用番号【 契約者回線番号 / 追加番号 】 ・利用しない
フレックスホン	・利用する 話中着信するポート【 アナログ1 / アナログ2 】 ・利用しない
擬似キャッチホン	・利用する 話中着信するポート【 アナログ1 / アナログ2 】 ・利用しない
擬似着信転送	・利用する 擬似着信転送機能利用番号【 契約者回線番号 / 追加番号 】 ・利用しない
その他のサービス	

質問内容

9. 付 録
